

— 都市ガスによる冷房の普及が拡大 — ガス冷房が累計 15 万冷凍トンを達成

平成 15 年 3 月 12 日
北陸ガス株式会社

北陸ガス株式会社（取締役社長：敦井榮一）では、クリーンな天然ガスによる空調システムの普及に向けた取組みを進めておりますが、このたび都市ガスによる冷房の累計普及実績が 15 万冷凍トン を突破しました。これは、家庭用のエアコンで約 26 万台に相当し、内訳はガス吸収式が 935 件、11 万 4 千冷凍トン、ガスヒーポンが 1,648 件、3 万 6 千冷凍トン（4 万 5 千馬力相当）となっています。

当社では、1972 年に第 1 号となる吸収式のガス冷暖房システムを納入以来、大規模なビルに適した空調システムとしてガス空調の営業を積極的に進め、1986 年に 5 万冷凍トンを達成しました。1988 年には、個別空調が可能で中小規模ビルや家庭用にも適したガスヒーポンがラインアップに加わり、1996 年に 10 万冷凍トンを突破、その後 7 年で今回の 15 万冷凍トンに達したものです。

都市ガスによる空調は天然ガスを熱源としており、NO_x（窒素酸化物）や CO₂（二酸化炭素）などの排出が少ないのに加え、吸収式は冷媒にフロンを使用しないため、環境にやさしい空調システムとして評価をいただいています。また、電力使用量が大きく増加する夏場のピークカットにも貢献し、エネルギー消費の季節間格差の解消につながるため、優遇税制や補助金など国からの助成措置の対象にもなっています。このため、設備費が押さえられるとともに、割安な空調用ガス料金が適用されることから、ランニングコストの低減も可能となります。

ガス冷暖房システムは、新潟市民芸術文化会館や NEXT 21、新潟スタジアムなど新潟を代表する施設で導入されているとともに、本年オープンが予定されている万代島の新潟コンベンションセンター、ホテル・業務用ビルにもご採用いただいています。

北陸ガスでは、今後も環境にやさしくコストの削減に貢献するガス空調の開発を進めてまいります。

冷凍トン：1 冷凍トンは、0.1 トンの水を 24 時間で 0℃ の氷にするために必要な熱量で、
12.659 MJ/h（3,024 kcal/h）に相当

<問い合わせ先>
北陸ガス株式会社
総合企画グループ
TEL：025-245-2214

「ガス空調」件数・容量の普及状況推移

